

平成24年度学力向上マニフェスト

荒川区立大門小学校

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標 (教師側の指標) 成果指標 (子ども側の指標)
教員の授業力向上	問題解決型授業への授業改善 問題解決の学習過程にもとづく授業づくりを行う。 児童が自ら学び、気づけるようにするための活動を必ず行う。	問題を正しくとらえ、算数的活動を通してその解決に向けた道筋を考え、自分の力で解決して答えを出す授業づくりを行う。
	児童が互いに疑問や意見を交流させながら学習を進める学び合いの授業を通して、互いに学び合う学習集団を育てる。	問題解決のために自ら活動し、自ら気づいたことをマイ・ノートに記録し、自分で答えを見つけていく力を養う。
	そのための適切な言語活動を取り入れ、一人一人の児童が自分なりの意見を表現し合える授業をつくる。	教師が教える都合で授業を作るのではなく、学習主体である児童に寄り添って学習を進める指導を身につける。
		教師から教えてもらうのを待つのではなく、自分が学ぶべきことを自ら学ぼうとする態度を身につける。
確かな学力の向上・定着	学習に必要な技能を確実に習得できるようにするため、個別に自分の課題にあった練習ができる活動を行う。 漢字習熟 ・ 計算習熟 単文作り ・ 図形技能の習熟	一人一人の児童が抱えている課題に対して、適切に対応できるようにする。系統性をもっている学習内容について、その系統性をふまえた指導ができるようにする。
	問題解決型授業を集団で行っていくために、電子情報ボードを活用する。電子黒板が未設置の英語教室・音楽室で使用する。	自分の課題を自分で意識できるようにする。また、自分が解決したい課題を習得していくうれしさを味わう。
	家庭学習ノート 自分で自分に必要な学習を決めて、学年に応じた量を毎日書いてくるノートを配布し、全校で実施する。	児童の意欲に着目し、それを認め、励まし、導くことの大切さに気づく。そして、それを支援していく指導法を身につける。
		人に言われてする学習ではなく、自分がやりたい学習、自分にとって必要な学習を自らの判断で行う自律性を養う。
		児童の意欲に着目し、それを認め、励まし、導く指導法を習得する。毎日、ノート点検と励ましのコメント記入を行う。
		人に言われてする学習ではなく、自分がやりたい学習、自分にとって必要な学習を自らの判断で行う自律性を養う。ノート提出率75%以上を目指す。